

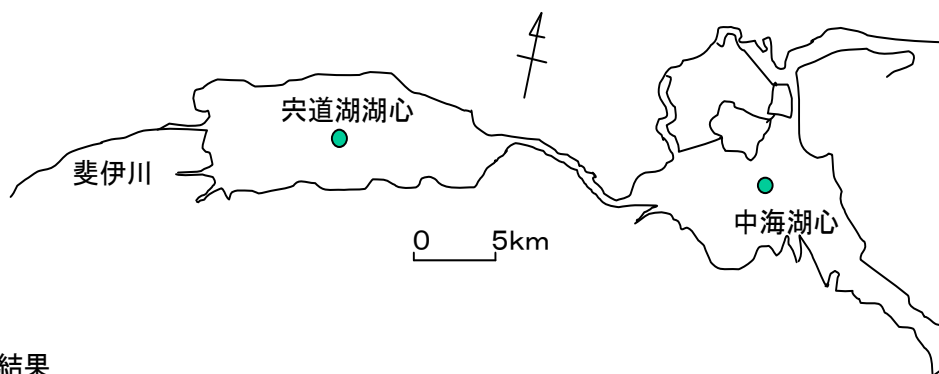


平成19年1月発行

[お問い合わせ先] 島根県環境生活部環境政策課
水環境グループ(電話:0852-22-5562)

平成18年12月の宍道湖・中海の水質状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

1. 調査地点



2. 調査結果

- (1) 宍道湖湖心では、過去5年間（平成13年度～17年度）の同月と比べると、COD（化学的酸素要求量）は平均値よりやや低く、全窒素は平均値より低く、全りんは最も低い濃度でした。
- (2) 中海湖心はCODは平均値より高く、全窒素・全りんは過去5年間の同月で最も低い濃度でした。

項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]*平成17年度平均	
			10月	11月	12月	10月	11月	12月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)	℃	—	21.8	18.4	9.0	21.8	18.4	10.3	—	—
pH(上層)	—	6.5～8.5	8.0	8.0	8.0	8.4	8.4	8.3	—	—
COD(全層平均)	mg/l	3以下	4.5	4.2	4.3	3.7	4.2	5.1	4.4	3.8
SS(上層)	mg/l	5以下	2	3	3	2	1	2	5	3
DO(上層)	mg/l	7.5以上	8.7	9.0	10	8.4	8.8	10	9.8	9.7
DO(下層)	mg/l	7.5以上	4.0	2.3	10	3.4	1.2	4.3	8.0	4.8
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.39	0.34	0.46	0.34	0.27	0.39	0.55	0.42
全りん(上層)	mg/l	0.03以下	0.033	0.030	0.025	0.053	0.035	0.031	0.036	0.034
Cl(上層)	mg/l	—	1000	1800	2700	9300	10000	10000	2400	9000
Cl(下層)	mg/l	—	1700	2600	2700	16000	15000	13000	2800	15000
クロロフィルa(上層)	μg/l	—	20	9.9	19	6.9	6.1	16	18	11

*平成17年度公共用水域水質測定結果より

輝水だよりはホームページでもご覧いただくことができます。(他にもいろいろな情報満載！)

http://www.pref.shimane.lg.jp/life/kankyo/kankyo/shinjiko_nakaumi/

[水質の用語]

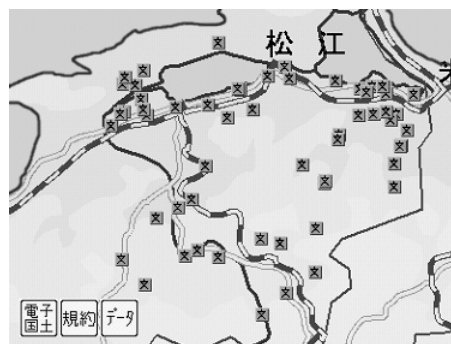
- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 化学的酸素要求量の略称です。湖水の中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんとともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。全窒素とともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(Cl)は約19000mg/lです。

コ
ラ
△ ~ 今月の数字 ~

57校

現在、宍道湖・中海流域の小中学生に身近な河川の水質調査をおこなってもらっています。18年度は全部で**57校**の学校の協力があり、2月には5回目の調査をおこないます。調査項目はCOD、透視度、全窒素、全りん等です。

子供たちには、この調査を通じ、河川水質に興味をもってもらい、自分たちでできる水質浄化を考え、実践してくれることを願っています。



参加校は流域全体に広がっています

